

齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2022年07月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					<u>1</u>	2
3	<u>4</u>	<u>5</u>	6	7	<u>8</u>	9
10	<u>11</u>	12	<u>13</u>	14	<u>15</u>	16
17	18	<u>19</u>	<u>20</u>	21	<u>22</u>	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

最近の記事

[\(07/22\)心不全治療薬のエンレストは万能薬か？](#)

[\(07/20\)オミクロン株の変異の猛威](#)

[\(07/19\)インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行の懸念](#)

[\(07/15\)C型肝炎のウイルス治療後でも肝がんの発生に注意](#)

[\(07/13\)今季のインフルエンザワクチンの推奨](#)

最近のコメント

<< [インフルエンザ流行状況・12月27日現在](#) | [TOP](#) | [気管支喘息ガイドライン・2020年版 その2](#) >>

2020年12月28日

気管支喘息ガイドライン・2020年版 その1

気管支喘息ガイドライン・2020年版 その1

～院内予習編～



アメリカの学会NHLBIから、2020年度の気管支喘息ガイドラインが出ています。膨大な文献なので暇なときに見たいと思っていますが、雑誌JAMAにサマリー的な文献が掲載されていまして、それを次回ブログします。以前の私のブログもご参照ください。まずは予習の意味で、喘息の登場人物を整理してみます。

・吸入ステロイド剤（ICS）

本ガイドラインではホルモテロールの有効性を示していますので、長時間作用性吸入β2刺激薬

（LABA）との配合剤としては、シムビコートとフルティフォームとなります。

[オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)
[オミクロン株でクループ症候群は起きるのです。その2](#) by (06/06)
[糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)
[4回目の接種・イスラエルからの2つの報告](#) by (04/26)
[モデルナワクチンのブースター効果・その2](#) by (02/04)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(223)
[循環器](#)(247)
[消化器・P P I](#)(147)
[感染症・衛生](#)(276)
[糖尿病](#)(128)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(99)
[インフルエンザ](#)(106)
[肝臓・肝炎](#)(62)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(51)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(47)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(32)
[ワクチン](#)(73)
[癌関係](#)(11)
[脂質異常](#)(28)
[甲状腺・副甲状腺](#)(19)
[婦人科](#)(10)
[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(41)
[熱中症](#)(7)
[日記](#)(23)
[その他](#)(80)

過去ログ

・長時間作用性吸入β2刺激薬 (LABA)

単独ではセレベントがありますが、後述するように単独使用によって喘息の重症化を招く危険性を指摘

したsmart研究後は、吸入ステロイド剤との併用又は合剤が一般的です。

・長時間作用性吸入抗コリン薬 (LAMA)

気管支を拡張するには交感神経のβ2を刺激すればよいのですが、交感神経の反対の副交感神経を

抑制する、つまり抗コリン薬を用いても気管支は拡張します。これがLAMAです。

LAMAは以前より閉塞性肺疾患 (COPD) や長引く咳に処方されていましたが、最近では気管支喘息

にも併用されて本ガイドラインでも推奨しています。

一般的にはLAMAの方がLABAに比べてマイルドです。

・短時間作用性吸入β2刺激薬 (SABA)

喘息薬は長期管理薬 (コントローラ) と 発作治療薬 (リリーバー、レスキュー) に分けられます。

SABAはリリーバーとして処方されます。本院ではサルタノールかメブチンミニが主流です。

・ロイコトリエン受容体拮抗薬 (LTRA)

本院ではシングレア、キプレス、シングレアチュアブル、オノンを使用

・smart研究とsmart治療

LABAのセレベントが上市された時は画期的な薬剤で、喘息発作で苦しんでいる患者さんにとっては

福音でした。もしこれがあればテレサテンを救えたのではと思いました。

しかしその後の研究で、アメリカの黒人を中心としてセレベントが急性増悪を誘発するのはとの懸念

から、一気に冷え込んでしまいました。

喘息の発作は収まっても、喘息を引き起こす炎症は収束していないからと説明されています。

それでも慎重に短期で使用すればSABAよりは有効ではないかと、依然として個人的には密かに

思っています。

Smart治療は、LABAとICSのホルモテロールの合剤のシムビコートがコントローラでもリリーバーでも

有効とのスタディです。2020年のガイドラインではこのsmart治療が主体になっています。

詳しくはドクターサロンとクリーブランド・ジャーナルに記載されていますので、ご参照ください。

- [2022年07月](#) (10)
- [2022年06月](#) (15)
- [2022年05月](#) (15)
- [2022年04月](#) (14)
- [2022年03月](#) (15)
- [2022年02月](#) (14)
- [2022年01月](#) (16)
- [2021年12月](#) (14)
- [2021年11月](#) (17)
- [2021年10月](#) (17)
- [2021年09月](#) (13)
- [2021年08月](#) (16)
- [2021年07月](#) (12)
- [2021年06月](#) (16)
- [2021年05月](#) (16)
- [2021年04月](#) (14)
- [2021年03月](#) (18)
- [2021年02月](#) (19)
- [2021年01月](#) (16)
- [2020年12月](#) (17)
- [2020年11月](#) (15)
- [2020年10月](#) (17)
- [2020年09月](#) (19)
- [2020年08月](#) (14)
- [2020年07月](#) (17)
- [2020年06月](#) (14)
- [2020年05月](#) (21)
- [2020年04月](#) (18)
- [2020年03月](#) (18)
- [2020年02月](#) (18)
- [2020年01月](#) (19)
- [2019年12月](#) (14)
- [2019年11月](#) (15)
- [2019年10月](#) (18)
- [2019年09月](#) (18)
- [2019年08月](#) (14)
- [2019年07月](#) (14)
- [2019年06月](#) (16)
- [2019年05月](#) (14)
- [2019年04月](#) (18)
- [2019年03月](#) (19)
- [2019年02月](#) (19)

日本では、2018年に気管支喘息のガイドラインが改訂されています。
雑誌Medica1 Practiceと今日の臨床サポートを参考にPDFを作成しました。

[22 気管支喘息 今日の臨床サポート.pdf](#)



ツイート

ブックマーク

【喘息・呼吸器・アレルギーの最新記事】

- [雷雨は喘息発作を誘発する](#)
- [喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)
- [喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)
- [潜在性結核感染症](#)
- [急性細気管支炎](#)

posted by 齋賀一 at 20:16 | [Comment\(0\)](#) | [喘息・呼吸器・アレルギー](#)

この記事へのコメント

[2019年01月](#)(15)

[2018年12月](#)(16)

[2018年11月](#)(20)

[2018年10月](#)(20)

[2018年09月](#)(18)

[2018年08月](#)(24)

[2018年07月](#)(18)

[2018年06月](#)(18)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

